2025年度 言語処理学会フェロー候補者 推薦書

記入日 2025 年 月 日

言語処理学会 フェロー選定委員会委員長 殿

|  |  |
| --- | --- |
| 推薦者氏名（※自署） |  |
| 会員番号 |  |
| 所属 |  |
| 役職 |  |
| 電子メール |  |

言語処理学会フェロー候補者として以下の者を推薦します。

1. フェロー候補者 （NAMEの記載例）言語 花子の場合、Hanako GENGO

|  |  |
| --- | --- |
| 氏 名 |  |
| NAME |  |
| 所属・役職 |  |
| 電子メール |  |

1. 対象となる顕著な功績のまとめ（30字程度で具体的に）
（例）「～の発見」「～の普及」「～の開発」「～の実用化」「～の創設」など

|  |
| --- |
|  |

1. 対象となる顕著な功績のカテゴリ（主たる功績のカテゴリを１つ選択し、◎をご記入ください。従たる功績のカテゴリがあれば１つ選択し、〇をご記入ください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 学術研究 |  |
| 人材育成 |  |
| 産業振興 |  |
| 学会運営 |  |

1. 対象となる顕著な功績に関わる業績のうち代表的なもの3件
※ 書籍、論文、特許、教材、講演、データセット、ソフトウェア、製品、報道など主または従のカテゴリに関わる公表済みの業績を列挙して下さい。
（例）自然太郎，言語花子：〇〇の提案，自然言語処理，Vol.1, No.1, pp.1-15 (1994).

|  |  |
| --- | --- |
| 業績１ |  |
| 業績２ |  |
| 業績３ |  |

1. 対象となる顕著な功績の詳細（500字程度）
※ 上記３で選択した主または従のカテゴリを中心に、候補者の顕著な功績の詳細を、上記４で挙げた３つの業績を ～を開発している [業績１]。 のような形式で参照しつつ、その他の功績を含め500字程度で記載して下さい。

|  |
| --- |
|  |

1. 最終学歴・学位 （例）〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修了・修士（理学）

|  |
| --- |
|  |

1. 職歴 ※最大3件 （例）〇〇～〇〇年 〇〇大学〇〇学部〇〇学科 教授

|  |
| --- |
| １．２．３． |

1. 本会での活動歴 ※最大3件（例）〇〇年 言語処理学会第〇回年次大会〇〇委員長

|  |
| --- |
| １．２．３． |

1. 本会を除く学協会・国際会議等での活動歴 ※最大3件
（例）〇〇～〇〇年 〇〇学会理事

|  |
| --- |
| １．２．３． |

以上

◆記入上の注意◆

1. 空欄に11ptでご記入ください（推薦者氏名の自署を除く）。
2. 推薦書テンプレートの様式（記載されたテキストや枠の大きさなど）を変更せずにご記入ください。青色のサンプルテキストもそのまま残してください。
3. 上記２の「まとめ」は、フェロー認定書の「あなたは〇〇〇においてきわめて顕著な功績をあげられました」の〇〇〇に挿入したときに自然となる程度の具体性でご記入ください。
4. 上記６～９は各事項を１行でご記入ください（正式名称が長い場合も1行となるように適宜略して下さい）。